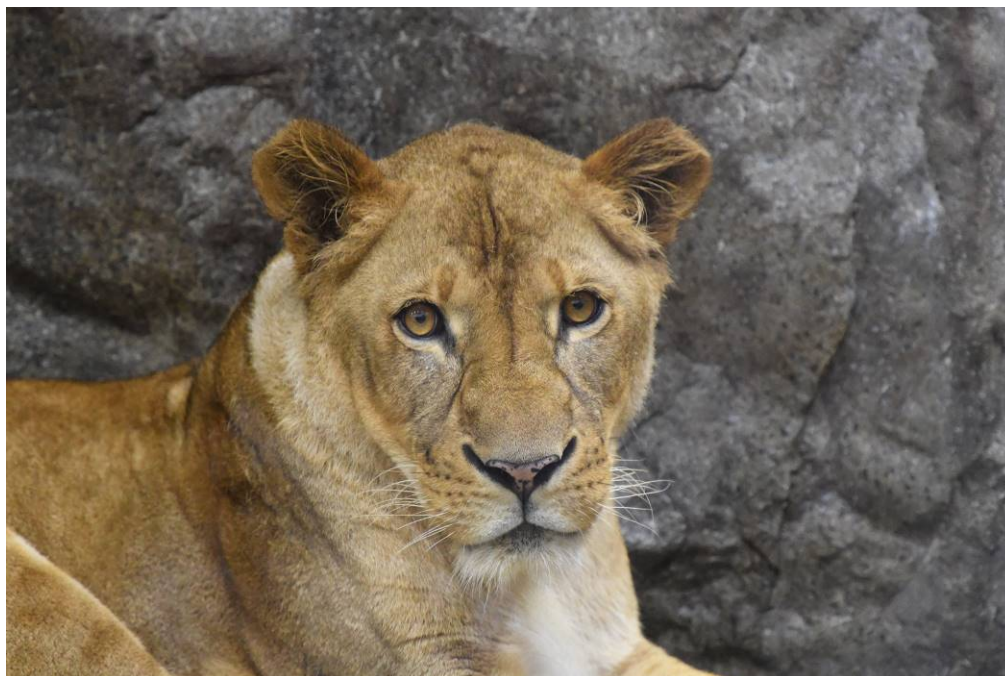


ライオンの「フラビア」が死亡しました



元気なころの「フラビア」

よこはま動物園で飼育していたライオンの「フラビア」が死亡しましたので、お知らせします。

○ライオン「フラビア」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 24 年 9 月 16 日 (8 歳)
- (3) 死 亡 日 時 令和 2 年 12 月 24 日 (木) 8 時 30 分死亡確認
- (4) 死 因 胃捻転

● フラビアのプロフィール

平成 27 年 10 月 29 日に、ウガンダ野生生物教育センター「Uganda Wildlife Conservation Education Center (UWEC)」から、ウガンダと横浜の友好の証として来園した個体です。フラビアは、神経質な性格で、様々なことに慣れるまでとても時間がかかりましたが、オスの「ソラ」や「シドウ」と同居を始めてからは、何事にも好奇心旺盛になりました。おもちゃが大好きでいつも遊びに夢中になっていた姿が印象的です。イベントでエサやり体験などを実施する機会が多くあり、たくさんのお客様からとても愛されていました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ライオンについて

和名	ライオン
英名	Lion
学名	<i>Panthera leo</i>
分類	食肉目 ネコ科
分布	東アフリカの草原からカラハリ砂漠
生態	ネコ科の動物は通常単独で生活をしますが、その中でライオンは唯一群れを作ります。群れは「プライド」と呼ばれ、1～7頭のオス、血縁関係のある複数のメスとその子どもたちで構成されます。狩りはおっぱらメスの役割ですが、効率よく獲物を捕らえられるようにチームで行います。それでもその成功率は3割程度といわれています。オスはメスたちの狩りにはほとんど参加しませんが、ハイエナ等の外敵から群れを守る役割をしたり、群れを乗っ取ろうとする他のオスと闘ったりします。オスのたてがみは1歳過ぎから生え始め、大人になる5～6歳まで成長とともに量も増え、色も濃くなっていきます。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ：現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種
当園飼育頭数	3頭 (オス2頭、メス1頭) ※令和2年12月28日現在 ※今回死亡した個体は含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。